

市民病院だより

『地域で糖尿病予防を』

日本糖尿病療養指導士
糖尿病コーディネイト看護師

江頭 早苗

現在、糖尿病は国民病と言われるほど増加の一途をたどっています。日本の糖尿病患者数は890万人と言われていますが、その一方で糖尿病専門医は全国で4、565人しかいません。特に佐賀県は、人口84万人に対して、糖尿病専門医が21人と圧倒的に不足しています。また、糖尿病腎症から透析導入になる年齢が全国で2位と、早い年齢で透析になる方が多いのが現状です。

そこで、増え続ける糖尿病患者をしっかりと診察し、透析導入を未然に防ぐには、地域の医院

やクリニックとの連携が、きわめて重要な課題になります。

このような状況をふまえ、佐賀県でも地域全体で参加する糖尿病医療連携が始まりました。

これは、糖尿病の方を地域全体で診ていこうとするもので、

コーディネイト看護師が、糖尿病患者のかかりつけの医療機関を訪問し、

・糖尿病連携手帳の推進

・糖尿病診療に対する技術移転

・地域住民への広報活動など

を行い、患者さんの治療がスムーズに行われ、どこの病院を受診しても同じ医療水準の治療を受けられるように、お手伝いをするものです。



このようにして悩まれていますか？

・自宅の近くに、いくつか病院があるけど、どこを受診したらいいのか分からない。

・病院が変わる時に、紹介状だけで情報がちゃんと伝えられているのか心配。

・いきなり受診するのは、行きにくい。

・糖尿病の合併症について、もっと詳しく知りたい。

・せっかく病院にかかっているから、たまには身体全体の検査もしたい。

地域全体で糖尿病の診療に取り組むことで、こうした患者さんの悩みを解消できたら、と思います。

私たち糖尿病コーディネイト看護師は、糖尿病療養指導に特化したコーディネイト研修を受けた看護師(糖尿病療養指導士)で、県内9か所の地域別の糖尿病医療基幹病院に配置されています。

ます。当院は小城多久地区糖尿病医療基幹病院となります。

小城多久地域全体の糖尿病患者さんの合併症を予防することで、透析導入率を下げられるようにすること。また、かかりつけ病院と糖尿病専門医、住民の方々の架け橋になれるようがんばりたいと思います。

【糖尿病教室】

◆開催日時

毎月第2・第4木曜日

15時～16時

◆場所

小城市民病院 3階

研修室

◆対象者

糖尿病患者とその家族の方。糖尿病が気になる方。



時間外受診をされる方へ

急病などでの時間外受診の場合は、必ず電話で宿日直医師の担当診療科をお問合せください。専門外の疾病の場合は、診察できませんのでご了承ください。

【問合せ】小城市民病院 ☎ 73・2161 ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>